

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 51	提案機関名 鎌倉だいこん未来研究クラブ
要望問題名 鎌倉だいこんの選抜・固定について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 鎌倉には寛元年間（1243～1247年）にさかのぼる「鎌倉大根」の伝説があり、佐助稻荷の起源のほか光明寺等にも伝承が存在しています。鎌倉だいこん未来研究クラブではこの「鎌倉大根」を復活させ、地域振興や食育に役立てる活動をしています。これまで、総務省地域力創造アドバイザー・江戸東京・伝統野菜研究会代表の大竹道茂氏や島根大学生物資源科学部植物育種学研究室の小林伸雄教授、県農業技術センター三浦半島地区事務所の原研究課長等のご助言を受け、「鎌倉大根」の起源は地元の浜辺に自生しているハマダイコンである可能性が高いことから、メンバーや地元生産者の協力により採種、選抜を実施してきました。また、鎌倉市の理解も受け地元小学校の食育授業としても取り組まれています。一部は鎌倉市農協連即売所でも販売されましたが品薄状態となっています。しかし、毎年11月に開催している鎌倉大根品評会・奉納際に出品されるものを見ると、形や大きさのばらつきが多いものや他系統との交雑が疑われるものがあり、今後の安定供給に不安があります。そこで、標準として利用可能な系統の選抜や採種についてご支援をいただければ幸いです。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考 かながわゆかりの野菜（2017, 神奈川県園芸種苗対策協議会） p. 33	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	三浦半島地区事務所 研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 1-(2)新たな作目・品種の探索による特産品の開発 (カ) 鎌倉だいこんの標準系統の選抜			
対応の内容等 鎌倉大根についてはご提案のとおり、地元の海岸に自生するハマダイコンを選抜したものであった可能性が高いと考えられます。形状や揃いを改良するためには選抜が有効と考えられますので、選抜に供する種子をご提供いただき、目的とする形質、選抜後の生産体制等について検討の場を設けていただければ、選抜を実施します。			
解決予定年限	①1年以内    ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考			